

「憲法9条を守る会」 2014年05月03日

私は「港南区9条の会」と「港南台9条の会」の世話人として参加しています。

「港南区9条の会」は5月24日（土）午後1時から「横浜港南台教会」で、池住義憲先生を迎えて「服従しない権利、抵抗する権利を 今こそ！～現政権・与党が進める軍国主義化の動きに抗う～」というテーマで集会をいたします。多くの方が参加して下さることを期待しています。

「港南台9条の会」は、毎月例会を持って学習し、駅前でチラシを配る地道な活動をしています。そして毎月「港南台9条の会 ニュース」を出しています。5月で100号を迎えます。それにメンバーが順次、短いメッセージを載せています。私も何回か書く機会を得ましたが、99号に「港南台の街で31年間 牧師として歩んで 人類の希望『憲法9条』を世界に」というタイトルで掲載しました。全文を転載したいと思います。

世話人・秋吉隆雄

皆さんにとって、牧師という職業の人との出会いは少ないと思います。日本では、牧師の数は多くはありません。牧師は、聖書を学び、人々にキリスト教を伝道したいと考えている人間です。「9条の会」では、自分の所属する団体、政党の宣伝はしない、9条を守ろうとすることだけを共通の使命にしています。一市民として、憲法を守り、平和を実現しようとの思いで参加しています。

私は、1967年に神学校を卒業し、47年間、牧師をし、今年の3月に隠退しました。横浜港南台教会では31年間、牧師を務め、洋光台・港南台で、かなり長く生活してきました。その間、新しくできた街の発展、推移を見、そのエネルギーを体験したことは大きな喜びでした。

教会で「創立10年史」を出した時、それを、この街を造った住宅公団の人が読み、「街造りには、こういうこともあるのか」と言ったそうです。「団地を造り、スーパーを造れば事足れり」と思ったのでしょうか。行政が宗教に関わることはありませんが、人間が住む街は多様な文化を生み出します。それを、受け止め、養う豊かな交わりと施設が大切です。

人間の社会は、時流に乗った「勝ち組」の人もあります。そうでない人もいます。それらの人々が、互いに受け入れ、命を分かち合って生きる社会が住み良い社会でしょう。

その願いに立てば「平和」こそが、最終の目標になります。平和がない社会は、世界で起こっている戦いの現実が示しているように、人権はおろか、生存権さえ確保できない悲慘が広がっています。

現在の安倍政権は、国家が国民を支配し、戦前の国家への回帰を目指していると思えません。戦争を放棄した日本国憲法9条は、平和に生存する権利を謳った人類の希望です。この希望を守り、平和を私たちの周りから実現し、世界に発信していきたい。このことを願い、皆さんと連帯していきたいと願っています。」